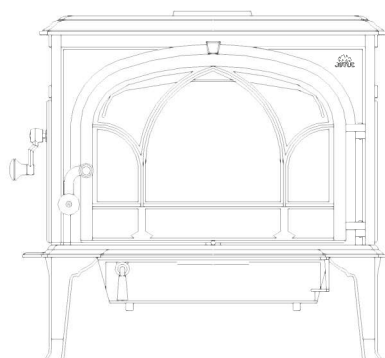


Jøtul F500

Jøtul F500

ヨツール機種別取扱説明書



目次

1. 正しく安全にお使いいただくために
2. 製品仕様
3. 薪について
4. 各部操作方法
 - ・ フロントドア、サイドドアの開閉
 - ・ アッシュドアの開閉
 - ・ 燃焼調整レバー
 - ・ 灰受け皿の取り出し
5. メンテナンスについて
 - ・ 扉のガasketの取替え
 - ・ ガラスのお手入れ
 - ・ バーンプレート・バップルのお手入れ
6. 参考図
7. パーツリスト

1. 正しく安全にお使いいただくために

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読み下さい。お読みになった後は、いつでも見られる所に保管して下さい。

- ・ コーシオンプレートと保証書は大切に保管して下さい。ヨツールクオリティーシステムのサービスやメンテナンスを受ける際にご提示いただく場合があります。
- ・ 本体及び煙突は高温となります。直接手で触れないようにし、扱う際は必ず耐火製のグローブを着用して下さい。
- ・ 正しく使用されない場合、火災事故や火傷や死亡事故につながる場合があります。
- ・ 使用時に薪がはぜる(火の粉が飛ぶ)ことがあります。必ず本体扉を閉めてお使い下さい。
- ・ 安全にお使いいただくために、定期的なメンテナンスを行って下さい。
- ・ ヨツールの製品は、賠償責任制度に加入しています。

2. 製品仕様

製品名	Jøtul F 500 (SE)
本体寸法	幅 783 × 奥行 724 × 高さ 715mm
重量	200kg
最小出力	3.5kW (3,010kcal/h)
定格出力	9.0kW (7,740kcal/h)
最大出力	11.0kW (9,460kcal/h)
最大/推奨薪長	55cm/30~55cm
暖房面積	~158 m ² (49 坪)
適切な薪量	2.7kg/h (定格出力より算定) <T4>
燃焼方式	クリーンバーン(2次燃焼方式)
煙突径	150mm
煙突方向	上・後
本体カラー	BP(ブラックペイント)
	BBE(ブルーブラックエナメル)
	IVE(アイボリーエナメル)
試験データ EN13240	
燃焼効率	78% 8.7 kW
推奨ドラフト値	10Pa
CO at 13%O ₂	0.1%
NO _x at 13%O ₂	56mg/N m ³
OGC at 13%O ₂	51mg/N m ³
Dust at 13%O ₂	57mg/N m ³

<T4>ヨツール・オーナーズ・トレーニングチェック項目です。薪を入れすぎた状態で使用すると過燃焼になり本体を破損する場合があります。機種により、適切な薪の量が示されています。

3. 薪について

・最適なサイズの薪を使用する事で、乾燥しやすく、燃料として理想的にご使用いただく事が出来ます。少なくとも 2 種類の薪を用意しましょう。

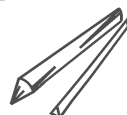
・ヨツールが推奨する薪

<焚き付けの薪>

・長さ:30~55cm/太さ:2~5cm/投入量:8~10 本

<通常使用時の薪>

・長さ:35cm/太さ:8~13cm/投入量:2-3 本



炊き付け用の薪



通常使用の薪

4. 各部操作方法

・フロントドアの開閉 (Fig. A参照)

- ・フロントドアハンドルを 90 度回転させ扉を開けます。閉めるときは扉を押しながらしっかりと閉めます。

・サイドドアの開閉 (Fig. B参照)

- ・サイドドアハンドルを 90 度回転させ扉を開けます。閉めるときは扉を押しながらしっかりと閉めます。

＜注意＞

- ・**サイドドアを、薪投入時以外は開けないでください。**

・アッシュドアの開閉 (Fig. C参照)

- ・アッシュハンドルを 90 度回転させ扉を開けます。閉めるときは扉を押しながらしっかりと閉めます。

＜注意＞

- ・**ストーブ使用中は必ずアッシュドアをしっかりと閉めてご使用ください。**

・燃焼調整レバー (Fig. D参照)

- ・本体正面中央のレバーをスライドして空気の調節をします。右にレバーをスライドさせて開けると、空気が多く流入し高温に、逆に左に閉めると、空気の流入が少なくなり低温になります。

＜注意＞

- ・**空気調整レバーを過度に閉めると不完全燃焼となり、煤やタールが多く発生する原因となります。**

・灰受け皿の取り出し (Fig. E参照)

- ① アッシュハンドルを開けます。
- ② 扉を手前に開きます。
- ③ 灰受け皿の取手を引き出します。

＜注意＞

- ・**本体が完全に冷めたことを確認し、グローブをご使用の上、灰受け皿を取り出して下さい。**
- ・**炉内の灰は、常に 2～3cm 残しておいてください。**

- ② ガasket専用の接着剤を溝に薄く塗布します。
- ③ 新しいガasketを、隙間なく押し込みます。常温で 3 時間以上乾燥させます。

・ ガラスのお手入れ

製品にはエアウォッシュシステムが装備されています。本体上部からガラスの内側に沿って空気が流れます。ある程度の煤は煙突のドラフトや燃焼レバーの調整具合によってガラスに付着しますが燃焼調整レバーが開いている時や炉内で炎が活発に燃えている時に消散します。

通常のクリーニングは、薪ストーブが冷めた状態を確認して、ぬれた布に灰を少しつけてガラスを磨きます。最後に乾燥した布で拭いてください。落ちにくい煤や汚れは、専用のガラススクリーナーを塗布し、乾いた布等できれいに取り除いて下さい。また、ガラスにヒビや割れ等が生じた場合は、直ちに使用を中止して、新しいものと交換して下さい。

・ バーンプレート、バッフルプレートのお手入れ

プレート全体にクレオソート等の汚れが付きますので、気になる場合はブラシ(バーミキュライト素材は傷が付きやすいので注意してください)をかけて汚れを取り除いて下さい。ヒビ割れ、変形が生じた場合は、直ちに使用を中止して新しいものと交換して下さい。そのまま使い続けると、暖炉本体の寿命を縮めます。また、バッフルプレートに付いた、余分なヒット材(セメント)がストーブ炉内に落ちる事がありますが製品のご使用には全く問題ありません。

5. メンテナンスについて

定期的なメンテナンスの際に、消耗品の交換をしましょう。

・ 扉のガasketの取替え

扉の周囲につけて気密性を保つガasketは、使用に伴って消耗してきます。扉のガタつきや空気漏れ、ガasketそのものに「へたり」が見られたら交換時期です。(Fig. F)

- ① ガasketをはがして、溝についている耐火セメントをドライバーやワイヤーブラシで取り除きます。

6. 参考図

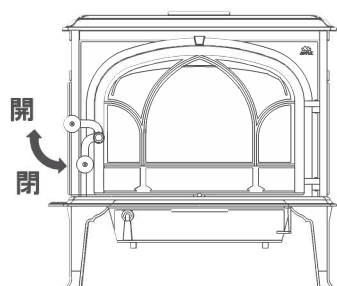


Fig. A

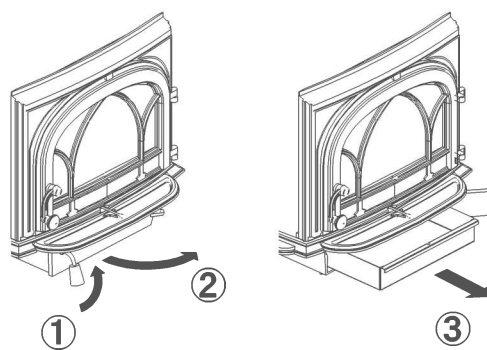


Fig. E

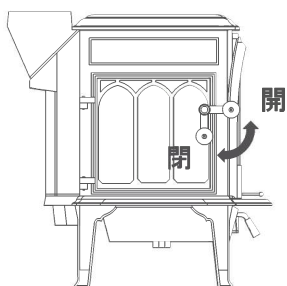


Fig. B

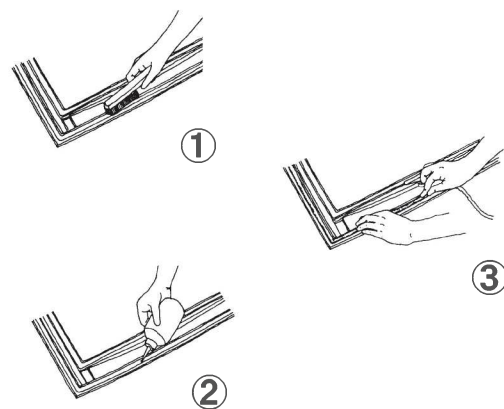


Fig. F

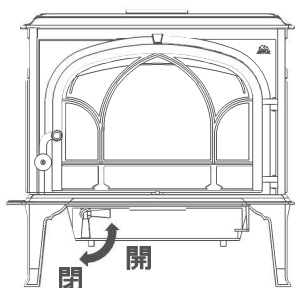


Fig. C

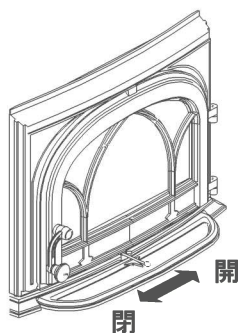
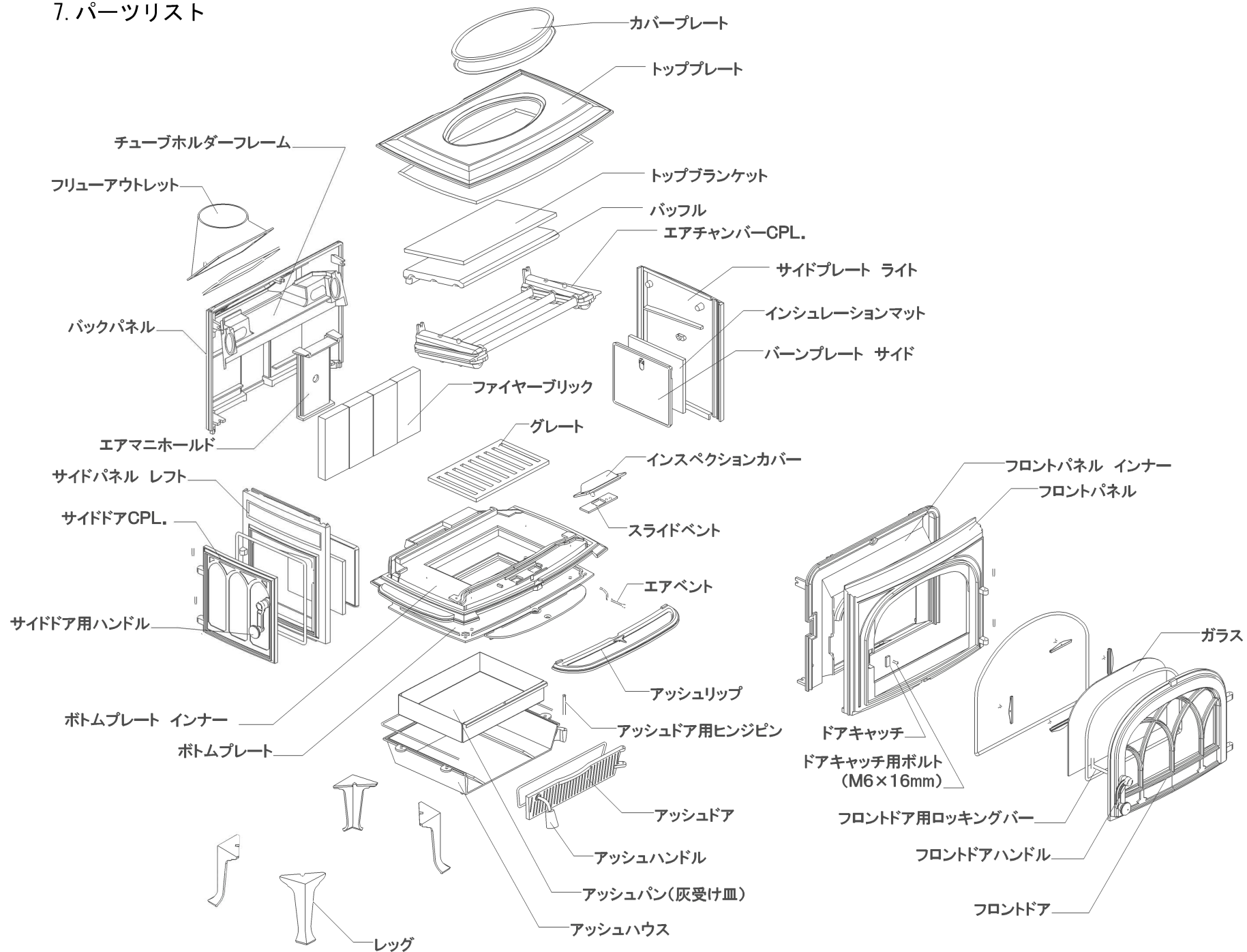


Fig. D

7. パーツリスト





ヨツール日本総代理店 一般社団法人日本暖炉ストーブ協会会員



202305